

B—76 被服生活の実態について（第4報）

鹿児島大教育 小林 孝子

1. 近年国民生活が平準化傾向の中にあっても、各地域の特性はその住民生活に大きな影響を与えるものと考えられるので、私は南日本の被服生活の実態をはあくし家庭科教育に資するため、毎年調査を行なっている。

2. 本年は鹿児島県内の5農業高校の学校長宛て調査用紙を郵送し、学校を通して生徒に配布し記入されたものを返送ねがった。

3. 成年男・女、子供、赤ちゃんの下着・洋服・和服や寝具その他の既製品普及率の上昇、筆頭者夫妻の平常着・外出着の様式について洋風化の型を見出すことができた。